

広島大学

令和 8 年度一般選抜(後期日程)・
総合型選抜外国人留学生型 3 月実施

解答例・出題の意図等

科目名:小論文

歯学部 歯学科

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和8年度

広島大学一般選抜（後期日程）

歯学部歯学科

小論文

出題の意図

問1

本設問は、超高齢社会における医療や介護のあり方を多面的に考察させることを目的としている。引用文では、近代社会において「ひとり世帯」が増加している現実が示されている。これは未婚率の上昇や家族形態の変化に加え、高齢化によって配偶者と死別し独居となる高齢者が増えていることを意味する。

まず受験生に「家族の機能が希薄化した社会における支援の担い手」を考えさせる点にある。医療は病気の治療にとどまらず、独居高齢者の健康を継続的に支える制度設計や技術の導入が求められる。介護は身体的支援だけでなく、孤立防止や生活の質を維持する社会的機能を担う必要がある。これらを自らの言葉で整理することで、受験生が医療・介護の本質的意義を理解しているかを確認できる。

また、本設問は、人生の終末期におけるケアの在り方を問いかけている。受験生は「尊厳ある生と死」を支えるために、医療と介護がどのように連携し、本人の希望を尊重できるかを考察することが期待される。単なる知識を求めるものではなく、社会構造の変化を踏まえて現代的課題を読み解き、自らの考えを論理的に表現する力を測定することを目的としている。

令和8年度

広島大学一般選抜（後期日程）

歯学部歯学科

小論文

出題の意図

問2

本問題では、提示された詩を読んで湧き上がる最も強い感情を一つに特定し、その感情が生じた理由と過去の具体的経験または想像される場面と結びつけて記述させることにより、医療現場で必要とされる誠実な自己内省力、成長力、多様な価値観と背景を持つ人に寄り添う共感性、倫理観、チームで協働するための協調性、誠実なコミュニケーション能力、危機対応能力などを評価する。同時に、過度の自己正当化や責任転嫁、過剰反応、過信、偏見など医療の質と安全を損ねやすい傾向が内在していないかを見極める。医療人には、安全で配慮が行き届いた医療を提供するために、冷静な判断力や客観性も求められる。その一方で、行き過ぎた自己責任の強調に陥らず、支援を求める力や限界の認識、率直に助言を受け入れる能力も必要とされる。また、信頼される医療人となるためには、探究心、科学的思考とデータ活用力、公正さと偏見の自覚、安全管理への配慮なども必要とされる。このような能力を醸成する適性を有するかどうかを、受験生の解答の構成・語彙・具体性から多角的に評価する。

受験生の解答には様々な記述が予想されるが、解答の中で、アドミッション・ポリシーに掲げる受験生の豊かな想像力、将来医療人となるための十分な責任感と豊かな人間性、問題解決能力、論理的思考力を評価する。